

Library Information

図書室からのお知らせ

■本の入荷について

図書室では、新刊本や話題の本など、新しい本を入荷しています。

本のクエストについても、図書室カウンターにて受け付けています。皆さんの読みたい本や気になる本などがありましたら、お知らせください。

また、お探しの本などがありましたら、お気軽にカウンターにご相談ください。

● 図書室の利用や、図書の検索・クエストなどについてのお問い合わせ先
町生涯学習センター図書室
TEL 096-234-2447(内線331)
✉ klg110@town.kosa.lg.jp

笑いとは何か人間とは何かを描く 又吉 直樹著 / 『火花』



文藝春秋
小説

お笑い芸人2人の物語。奇想の天才である一方で、人間味あふれる神谷。その彼を師と慕う後輩・徳永。彼らの人生はどう変化していくのか。お笑いの世界の周辺で生きる女性たちや芸人の世界の厳しさも描きながら、驚くべきストーリー展開を見せる。お笑い芸人である著者が、文学界に放った笑い与人間の神髄に迫った話題作です。

世界で活躍する「強さ」の秘密に迫る 本郷 陽二著 / 『錦織圭 (オリンピックのアスリートたち)』



汐文社
児童書

日本人男子初のテニス世界ランキングトップ10内にランキングされた、テニスプレイヤー錦織圭。5歳のときにテニスを始め、試合で負けるたびに大泣きするほどの負けず嫌いの少年が、どのようにして「強さ」を身に付けて困難を乗り越え、世界へ羽ばたいたのか。テニスを習っている子もいない子も、ぜひ読んでほしいおすすめの本です。

科学史に残るスキャンダルの真相 須田 桃子著 / 『捏造 (ねつぞう) の科学者 STAP細胞事件』



文藝春秋
一般書

ノーベル賞を受賞したiPS細胞を超える発見と喧伝する理研の記者会見が開かれた。しかし、その後から発見の興奮に酔っていた取材班に、疑問がひとつ、またひとつ増えていく。STAP細胞報道をリードし続けた毎日新聞科学環境部の女性科学記者が関係者への粘り強い取材を時系列に沿って書いた、読み応えのあるおすすめの本です。

日本が誇る名俳優の人生を明かす 『永久保存版 高倉健 1956~2014』



文藝春秋
教育・娯楽

高倉健さんは、いかに逝(い)ったのか…。養女の小田貴さんの手記によって、健さんの最後の闘病生活が初めて明かされています。また、各界の著名人が語る『健さんと私』では、意外な交遊秘話が紹介され、今まであまり知られていなかった健さんの姿が浮かびます。出演映画の名場面の写真も多数ある、「高倉健追悼本」の決定版です。

町生涯学習センター図書室のご利用について

■開館時間 午前9時～午後5時 ■休館日 毎週火曜日、年末年始 ■貸出冊数・期間 1人3冊まで、8日間

私 私のおすすめの本は、『チェンジング』という本です。

これは、小学5年生の大夢が大好きな本と友達、料理を作ることを通して、いじめのあるクラスを立て直していく物語です。

それぞれの個性を「味」に例えていることが強く心に残りました。

毎日のおいしい食事は、体だけでなく心も育てると初めて知りました。

今月の案内人



竹田 朱里さん
(吉田区)

いじめを見て見ぬふりをしていた生徒たち、ひとりひと

～ My Favorite Story ～

Read This Story!

私のおすすめ図書

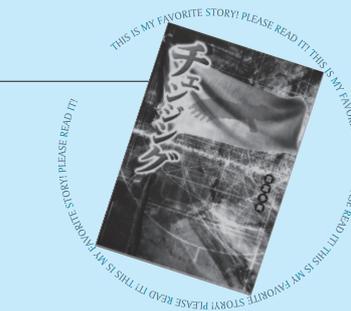
『チェンジング』(吉富多美著)

クラスのいじめに耐える大夢は、料理の「味」を通していじめについて考える。やがてすべての「味」が変化して、自分という名の料理を作り出す。

りが立ち上がり、自由のために立ち向かっていきます。

くりかえしくりかえしアクをとり、手間をかけてひとつのスープが出来上がっていくような感じが感じられ、とても勇気がもらえる本だと思います。

児童書ですが、大人にも訴える部分もたくさんあるので、親子で読まれたりしてもいいと思います。



● あなたの「おすすめ図書」をご紹介してみませんか？
町生涯学習センター図書室
TEL 096-234-2447(内線331)
✉ klg110@town.kosa.lg.jp

Public Hall

町公民館からのお知らせと話題

平成27年度町民大学開講式

- 日時 5月26日(火)
- 会場 町生涯学習センター・ホール
- 内容
 - 開講式 午前10時
 - 講演 午前10時15分
 - ・演題 「共に生きる」
 - ・講師 長嶺興也さん
善林寺(美里町)住職

どなたでも参加できますので、ご近所お誘いの上、たくさんの方をお待ちしています。

- 公民館講座や町民大学などに関するお申し込み・お問い合わせ先
町教育委員会公民館事務局
☎096-234-2447(内線321)
✉klg110@town.kosa.lg.jp

町民大学 閉講式および公演会

3月24日(火) 町生涯学習センターで平成26年度の町民大学閉講式を開催し、受講生40人が参加しました。公演では、演芸愛好者グループ「清和爽やか元気応援団」による銭太鼓、玉す



▲「清和爽やか元気応援団」による銭太鼓などが披露

ました。だれ、ひょっとこ、踊りななどのステージ発表が行われました。同団員は、自分の趣味や

興味があるものを「とにかくやってみよう」をモットーにさまざまなことにチャレンジされています。80歳前後の団員が生涯現役の名の通り、毎日を楽しく過ごしている姿に受講生も大いに勇気付けられ、踊りのポーズが決まるたびに会場は大きな拍手に包まれました。

世持公民館

公民館出前講座「落語」

4月12日(日) 世持公民館で、出前講座「落語」を開催し25人が参加しました。この講座は、落語を趣味として熊本市で活動されている「つばなれの会」のまぬけ家与太郎さんによる、間抜けな男の権助がだんな様の浮気を疑っている奥様



▲調子の良い話術で参加者の笑いを誘うまぬけ家与太郎さん

レの文化がない田舎村の若者が江戸へ旅に出て大騒ぎになってしまふ「勘定板」の高座がありました。2人の小話を挟みながら笑いを誘う軽妙な話術に参加者たちは終始大笑いし、中には笑い過ぎて流れる涙をハンカチでぬぐう人も見られました。

からだんな様のお供を言いつかりとんちんかんな行動をする「権助魚」と、むさし家鉄扇さんによる、トイ

Human Rights

人権 ～心豊かに暮らすために～

町生涯学習センター図書室 「人権コーナー」のご紹介

町生涯学習センター図書室では、約150冊の「人権に関する本」を展示していますが皆さんはご存知でしょうか。

今回は、その中から数冊ご紹介したいと思います。ぜひ閲覧ください。

『あした元気になあれ』(松村智広著)

子どもたちや仲間と出会う中から、差別を乗り越え部族を誇りとするようになるまでの道筋をユーモアを交えてつづっています。感動と元気と



やる気をもらえる本です。

『命の授業』(腰塚勇人著)

著者は、大学卒業後「天職」と思えた中学校の体育の先生となり、部活の顧問として熱血指導をしていました。しかし、2002年にスキーでの滑落事故で、首から下が全く動かなくなり絶望に突き落とされてしまいました。周りの人たちの応援と励

ましを受け、「自分の命があらゆるものに助けられ、生かされていること」に気付き奇跡の復活を遂げていきます。

著者は本書の初めに「この本でお伝えしたいのは“命の大切さ”はもちろんですが、“あなたという存在の大切さ…”についてです」と語っています。

- 人権に関するお問い合わせ先
町教育委員会社会教育課
☎096-234-2447(内線324)
✉klg110@town.kosa.lg.jp